

平成30年度

## 千葉市教育研究会 6月例会

開催日 平成30年6月19日(火)

提案校

展開学級

展開場所

授業者

協議会場 図書室(2階)

時間 授業展開 14:00~14:50

協議会 15:00~16:30

平成30年度 市教研英語部会研究主題

「主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図る資質・能力の育成」

- 1 主体的・対話的に学ぶ学習過程の工夫
- 2 小中のつながりを意識した授業改善

協議したいこと

- 1 ライティング指導において工夫されていること、継続して取り組んでいる活動など
- 2 英語で書くことが難しい生徒の指導として有効なもの、手立てなど

## 平成30年度 英語科 研究計画

### 1 学校研究主題

求められる資質・能力をふまえた授業づくり

### 2 外国語活動研究主題

主体的に表現活動に取り組める授業の工夫

### 3 研究主題解明の視点

#### ○求められる資質・能力の捉え方

具体的で身近な話題について、お互いの考えや気持ちなどを外国語で適切に伝え合う能力

#### ○本校の表現活動の重点

出来事だけを表現するのではなく、相手のもっている文化・背景を理解したうえで、伝えたい内容に自分の気持ちや意見を加え、またその理由を英語で表現する力の向上に取り組む。ALTとの会話や、生徒同士のやり取りを増やし、実際の使用場面を想定して話す活動に継続して取り組む。また、スピーチの原稿作りや USE-Write に取り組む際、自己体験を基に英文を作成できるよう課題設定を工夫し、既習の表現をうまく組み合わせ、自分の主張したいことを正確に英語で書く力を高める。

### 4 研究内容・方法

(1) 表現したい内容が正しく伝わるよう、適切な文法を使用し正しい英文を書けるようにする。

- ①新しい基本文を使いこなせるようになるまで、さまざまな活動を通して繰り返し練習する。
- ②既習の文法事項を使用する場面を繰り返し設定し、定着を図る。
- ③語彙を増やすとともに、役に立つフレーズのインプットに継続して取り組む。

(2) 自分の気持ちや考えを、理由も加えて表現させる。

- ①気持ちや考え、感想の述べ方、表現の仕方を定期的に紹介する。
- ②課題設定の際、自分の気持ちや考えを理由も付け加えて表現させるようにする。
- ③優れた表現は随時紹介し、集団の表現力の向上につなげる。

(3) 使用場面、使用状況を想定したライティング活動を行う。

- ①リアリティーある場面設定を行う。
- ②学校、学年行事、実際のインタビュー内容を題材にするなど、自分の体験活動を英語で表現（スピーチ ライティング）させる。

### 5 外国語活動経営上の問題点

本校の生徒は、他の技能に比べライティングの力が低い。また、与えられた課題には素直に取り組むが、自ら考え、自主的に表現していく活動に対しては消極的である。また、家庭学習の習慣が身に付いていない生徒も多い。学年が進むにつれて力の差が広がるライティング力を段階的につけさせるためには、語彙力の強化と、定期的にライティングの課題に取り組みせ、確実に使える表現を増やしていく必要がある。

## 【少人数指導についての考え方】

今年度は、ライティング力の向上を英語科の課題として3年目に当たる。ライティング力の向上には、語彙力の強化はもちろん、まとまりのある英文を書かせる課題に定期的に取り組ませる必要がある。これまでは、ワークシートに言語材料を含む会話文の作成を課題（資料①）に取り入れたり、前時に学習した本文の復習を兼ねた2文英作文（資料②）にも継続して取り組んだ。今年度は、**One Question Three Answers** を合言葉に、1つの質問に対し3文以上の英文で答えるライティングの活動（資料③）を行っている。また、**Let's Talk** の単元では、自由に会話文作りをさせ、完成した会話文を発表し合い、既習事項がうまく使えている例や、会話の流れが自然であるものを全体で共有した。ライティングを柱に取り組んできたことで、「書く課題」に継続して取り組むリズムができたこと、また自由に書かせることで、既習・未習を問わず、生徒がもっているさまざまな表現を引き出したことは成果だったと言える。また、課題であった苦手な生徒へのフォローについて改善すべく、昨年度は3年生で少人数指導を取り入れた。3年生にもなると、ライティングにおける実力差の開きが指導の一番のネックになる。既習事項を適切に組み合わせ、自由に英文を作れるレベルの生徒がいる中、語彙が少なく基本単語のスペルもあやふやなレベルの生徒も各学級数名おり、これまでは授業の焦点をどこに置いたらよいかが大変難しかった。昨年度、クラスを基礎と発展の2つに分けてのライティングの指導を始めて実施した。取り組む課題（単元）は同じであっても、掲げる目標を変えることでそれぞれのクラスのレベルに応じた支援ができ、またどちらのクラスの生徒からも学習しやすかったとの感想が上がった。昨年度の経験を踏襲し、本年度も3年生のライティング指導に少人数での学習を取り入れ、一人一人が正確な英文を書けるよう丁寧に指導していきたい。また、今年度もコースの選択は本人の希望で随時変更しながら進めていくこととする。

# 英語科学習指導案

日 時 平成30年6月19日(火) 5校時  
展開学級  
展開場所

1 単元名 New Crown 3 Project1 先生にインタビューしよう

2 単元の目標

- (1) 身近な先生に聞いてみたい質問を考え、インタビューを行う。[基]
- (2) 先生方の情報を(出身地、興味があることなど)紹介文としてまとめる。[基][発]
- (3) 作成した紹介文を発表し合いグループで共有する。[基][発]

3 本単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
人物を紹介するとき役立つ表現の知識がある。 既習の時制、助動詞、文の構造などを理解し、運用できる。	身近な先生方についての情報を、インタビューを通じて伝え合っている。 収集した情報を紹介文としてまとめる。	より良い紹介文を作成するために、身近な先生についての情報を積極的に収集する。 間違えることを恐れず、意欲的にインタビュー活動を行う。

4 本単元に該当する本校 Can-do リストの目標

書くこと	与えられたテーマについて、自分の意見や気持ちも含め、まとまりのある英文を書くことができる。
------	---

5 単元について

本単元では、4月から学習してきた内容(これまでの既習事項も含め)を統合したライティングの活動に取り組む。普段接している身近な先生方について、アンケートやインタビューを通じて知り得た内容を紹介文としてまとめる。4技能のうち、「聞く、書く、話す」の3技能を統合した Project の構成になっており、それぞれの活動のねらいをしっかりと意識して取り組ませることで、英語の運用力を高められるよう指導をしていきたい。まず、「聞き取る活動」では、インタビューを漠然と聞き取らせるのではなく、インタビュー作成の一助となるよう、質問項目や、質問するときの英文表現に注目させる。また、インタビューする質問を考える際には、どんな言語材料を用いて質問するのが一番適切か(趣味をたずねるときには現在完了形の継続用法を使用するなど)をグループで話し合わせることで、既習事項の振り返りの時間とさせたい。また、「話す活動」については、基礎コースを中心に取り組ませる。基礎コースの生徒の中には、一般動詞の質問と be 動詞の質問の区別が難しい生徒もいる。疑問詞を使った質問文には抵抗感が大きい生徒も多いため、インタビュー活動がスムーズに行われるように、典型的な質問のパターンを何度も口頭練習させたい。「書く活動」では、少人数指導を取り入れる。基礎コース、発展コース共に、「先生の紹介文を作成する」という共通の課題のもと、目標とする英文のレベルを変えてライティング活動にチャレンジさせる。基礎コースにおいては、少人数で学習することにより、きめ細かく指導できる利点を生かし、基本文を用いて、簡単であっても正確な英文を書かせることを目標にしたい。また、発展コースにおいては、生徒たちの希望するトピックについて先生方に事前にアンケートを行い、ある程度まとまった量の回答をいただき、その情報を基に8文以上の紹介文を書く活動に取り組む。紹介文の構成は、Opening、Body、Closing の三部構成をとらせ、英文の羅列にならないよう、読みやすくわかりやすい順序で英文を書く力をつけさせたい。また、本校の「CAN-DO リスト」では、3学年の書くことの到達目標として、「与えられたテーマについて、自分の意見や気持ちも含め、まとまりのある英文を書くことができる」を掲げている。そこで、発展コースでは紹介する先生の情報を読みながら感じたこと、その先生に対する自分の気持ちなどを1文盛り込むことにもチャレンジさせたい。

6 指導と評価の計画（3時間扱い）

次	時	評価規準と評価方法	学習活動
第一次	1	<p><b>【評価規準】</b> 疑問詞や助動詞なども用い、適切な質問を作成できる。</p> <p>与えられた情報から構成を考え、8文以上の紹介文を作成しようとしている。</p> <p><b>【評価方法】</b> ワークシートの点検</p>	<p>○Project①の課題理解</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Warm-upとして教科書の課題1のリスニングに取り組み、プロフィール表作成のために必要な情報のイメージをつかむ。</li> </ul> <p>○次回の準備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアで、インタビューしたい先生への質問内容を考える。㊦</li> <li>・インタビューする際の、典型的な質問パターンの口頭練習を行う。㊦</li> <li>・日本語で書かれたALTの先生のプロフィール表を基に、8文以上の英文で紹介文を作成する練習を行う。㊦</li> </ul>
第二次	2 本時	<p><b>【評価規準】</b> 5文以上の簡単な紹介文を書く。㊦</p> <p>主観や意見も交えた8文以上の紹介文を書く。㊦</p> <p><b>【評価方法】</b> 完成した紹介文で評価</p>	<p>○情報の収集</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先生役、インタビュアー役に分かれ、基本的なインタビューの質問、応答の練習を行う。㊦</li> <li>・与えられた先生方の情報から、どのような紹介文を書くか構成を考える。㊦</li> </ul> <p>○紹介文作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あらかじめ収集しておいた情報を基に、先生方の簡単な紹介文を作成する。㊦</li> <li>・与えられた情報を基に、主観も交え、自分なりの工夫を加えた先生方の紹介文を作成する。㊦</li> </ul>
	3	<p><b>【評価規準】</b> 完成した紹介文を聞き取りやすく全体の前で発表する。</p> <p><b>【評価方法】</b> 声量、英語、態度の3観点で評価</p>	<p>○紹介文完成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時に作成したプロフィール表、紹介文の添削部分を修正する。</li> </ul> <p>○発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・完成したプロフィール表、紹介文を発表し合い、全体で共有する。</li> </ul>
	後日	<p><b>【評価規準】</b> 次の4観点で評価する。 文量（5文以上）、文の構造（適切な文法を使用しているか）、スペル、内容にまとまりがあるかどうか。</p> <p><b>【評価方法】</b> 筆記テスト</p>	<p>○筆記テスト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テストの表現の問題として、よく知る人物についての紹介文を書く問題を出題する。</li> </ul>

7 本時について【基礎】

目標 各グループが集めた情報を、簡単な英語のやり取りを通じて共有する。  
収集した情報をもとに、簡単な先生の紹介文を作成する。

本時の展開

学習活動と時間配分 (何を学ぶのか)	◆教師の指導・支援 ◇学習者の学び (どのように学ぶのか) 主体的学び 対話的学び 深い学び	評価 (何ができるようになるのか) 知技 思判表 態度
<p><b>導入(8)</b></p> <p>挨拶 Greet / Weather Health condition</p> <p>目標の確認 本時の目標の確認をする。</p> <p>質問練習 インタビュー活動に必要な質問の仕方を確認する。</p>	<p>◆テンポのよい挨拶を通じて、英語学習の雰囲気を作る。</p> <p>◆インタビュー活動、ライティング活動、それぞれの注意点と目標を押さえる。</p> <p>◆テンポよく、いくつかの質問を口頭練習させる。</p>	
<p><b>展開(32)</b></p> <p>インタビュー活動 先生役と生徒役に分かれてインタビュー活動を行い、情報を収集する。</p> <p>基本文の確認 人物を紹介するときに必要な基本文を確認する。</p> <p>紹介文の作成 収集した情報を基に紹介文を作成する。</p>	<p>◆先生役と生徒役を明確に指示する。 ◇グループ間で互いに質問し合い、情報を共有する。 【主体】</p> <p>◆サンプルを提示し、目標とするレベルを視覚化する。</p> <p>◇既習の表現を用い、ペアで相談しながら収集した情報を英文にする。 【対話】</p>	<p>○既習の表現を用いて意欲的に質問している。 【態度】</p> <p>○既習の基本文を用い、目標とするレベルの紹介文を完成させることができる。 【思判表】</p>
<p><b>まとめ(10)</b></p> <p>表現の共有 書き上げた紹介文をいくつか発表する。</p> <p>次回の連絡と終わりの挨拶 次回はクラス単位で実施。英文の修正と全体発表。</p>	<p>◆何人かに発表させる。 ◇友達が書いた紹介文を、興味をもって意欲的に聞く。 【主体】</p> <p>◆次回の学習内容を連絡する。</p>	

- 7 本時について【発展】 目標：互いの紹介文に対してアドバイスすることができる。  
与えられた情報をもとに、先生の紹介文を作成する。

本時の展開

学習活動と時間配分 (何を学ぶのか)	◆教師の指導・支援 ◇学習者の学び(どのように学ぶのか) 主体的学び 対話的学び 深い学び	評価(何ができるようになるのか) 知技 思判表 態度
<p><b>導入 (8)</b></p> <p>挨拶 Greet / Weather Health condition</p> <p>本時の活動・目標の確認 サンプルダイアログを聞くことで、本時の目標を理解する。</p> <p>プロフィール表の確認 先生方のプロフィール表を確認し、トピックを2つ選択する。</p> <p><b>展開 (32)</b></p> <p>紹介文の作成① 紹介文の構成(3部)を考え、1文ずつ英語にしてみる。</p> <p>表現の共有 書き上げたところまでの紹介文をお互いに読み合う。いい表現や修正が必要な個所についてワークシートにコメントを入れる。</p> <p>紹介文の作成② 紹介された英文を参考に、自分の書いた英文の修正を行い、紹介文の続きを書く。</p> <p><b>まとめ (10)</b></p> <p>表現の共有 うまくまとまっている紹介文を書画カメラで写し出し、共有する。いくつか発表する。</p> <p>次回の連絡と終わりの挨拶(次回はクラス単位で実施。紹介文の仕上げと全体発表。</p>	<p>◆テンポのよい挨拶を通じて、英語学習の雰囲気を作る。</p> <p>◆本時の課題と目標文のレベルを明確にする。サンプルダイアログとして、JETとALTが8文程度で互いに紹介し合う。</p> <p>◆3文以上書けるトピックを選択するようアドバイスする。</p> <p>◇既習の表現をうまく用い、Openingから1文ずつ英語にする。1つのトピックについて3文を目標に書く。【深い】</p> <p>◇友達が書いた英文のよいところや修正箇所にコメントを入れる。【主体】</p> <p>◇より良い紹介文になるよう自分の英文を添削し、既習の表現をうまく取り入れながら、紹介文の続きを書く。紹介する先生に対する気持ちや意見を一文でも交えられるよう展開を工夫する。【深い】</p> <p>◇紹介された英文に興味をもって鑑賞する。【主体】</p> <p>◆作品をいくつか発表させる。</p> <p>◆次回の学習内容を連絡する。</p>	<p>○友達が書いた英文に対して、良いところを賞賛したり、修正が必要なところを指摘するコメントを書く。【態度】</p> <p>○自分の意見も交え、自分で英文を修正しながら目標とするレベルの紹介文を完成させることができる。【思判表】</p>

調査1 以下の活動の取り組み状況について、数字で教えてください。

4：積極的に取り組んでいる 3：やや積極的に取り組んでいる

2：多少苦手意識があり消極的取り組みである 1：苦手であり取り組めていない

- ①英語を話す活動 ペアでの会話練習や音読練習など ( )
- ②英語を聞く活動 教科書のリスニングやリスニング問題など ( )
- ③英語を読む活動 GET や Read の文を訳す 長文の意味をとるなど ( )
- ④英語を書く活動 スピーチ原稿を書いたり、まとまりのある英文 (5文以上) を書くなど ( )

調査2 新しいALTの先生にいくつか英語で質問をしようと思います。

( )内の語を正しい語順に並び替えなさい。記号で順番を答えなさい。

- ① ( Japan / did / come to / you / why / ? ) なぜ日本に来たのですか
- ② ( are / you / where / from )? どこ出身ですか
- ③ ( are / interested / what / you / in )? 何に興味がありますか

① → → → →	② → → →	③ → → → →
-----------	---------	-----------

調査3 ( )に1語入れ、日本語の意味と同じ英文を完成させなさい。

- ① Please ( ) ( ) about ~ あなたの～について教えてください。
- ② May I ( ) your name? お名前を教えてくださいませんか。
- ③ Thank you for ( ) ( ). お時間ありがとうございます。

調査4 ①②については日本語を参考に並び替えなさい。

③④については ( )に1語入れ、日本語の意味と同じ英文を完成させなさい。

- ① ( place / is / favorite / her / Kamakura ) 彼女の好きな場所は鎌倉です。
- ② She ( lived / has / this town / in / for 20 years ).  
彼女は20年この町に住んでいる。
- ③ She ( ) math at a junior high school. 彼女は中学で数学を教えている。
- ④ She likes ( ) books. 彼女は本を読むことが好きです。

① → → → →	② → → →
③	④